

平成27年度行政事業レビューシート (総務省)

事業名	電気通信消費者権利の保障等推進経費 (地方)			担当部局庁	総合通信基盤局			作成責任者
事業開始年度	平成22年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	消費者行政課 データ通信課			課長 湯本 博信 課長 吉田 正彦
会計区分	一般会計			政策・施策名	V-4 情報通信技術利用環境の整備			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	電気通信事業法 青少年インターネット環境整備法			関係する計画、通知等	青少年が安全に安心してインターネットを利用できるようにするための施策に関する基本的な計画(平成21年6月30日インターネット青少年有害情報対策・環境整備推進会議決定)			
主要政策・施策	子ども・若者育成支援			主要経費	その他の事項経費			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地域特性に応じた電気通信サービスの消費者行政に係る関係者間の連携強化を図り、行政としての対策や自主的取組の促進策の検討を進め、以て電気通信サービスの消費者主権の確立を図る。また、青少年を中心として電気通信サービス利用に伴うトラブル防止のための利用者リテラシーの向上を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	電気通信サービスの消費者利益の確保を図るため、各地域の実情に照らしながら行政、電気通信事業者及び消費生活センター等との間の連携を強化し、電気通信サービスの消費者問題や違法・有害情報等の不適正利用に迅速に対応するとともに、電気通信事業者等の自主的取組の促進策等の検討材料とする。また、青少年等のリテラシー向上を図るため、各地域においてPTA(保護者・教職員)、自治体等の関係者間の連携体制を構築し、地域の実情に応じた周知啓発活動(e-ネットキャラバン等)を展開していく。これらの取組を通じ、地域における電気通信サービスの安心・安全な利用環境の整備を図る。							
実施方法	直接実施							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	6	8	8	9	12	
		前年度から繰越し	0	0	0	0	0	
		翌年度へ繰越し	0	0	0	0	0	
		予備費等	0	0	0	0	0	
		計	6	8	8	9	12	
	執行額	5	6	7				
	執行率 (%)	83%	75%	88%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度	
	平成27年度中のe-ネットキャラバン参加者数は400,000人を目指す。	e-ネットキャラバン参加者数	成果実績	万人	22	33	51	
			目標値	万人	-	-	-	40
			達成度	%	-	-	-	-
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							<input type="checkbox"/> チェック	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	e-ネットキャラバンの講座開催数	活動実績	回	1,524	2,073	2,789		
		当初見込み	回	-	-	-	-	
単位当たりコスト	算出根拠	単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
	e-ネットキャラバン開催に係るコスト(職員旅費、会場費)/総合通信局職員の講座実施件数(協力企業・団体実施分を除く)	単位当たりコスト	円	18,811	9,027	7,178	-	
		計算式	百万円/開催回数	1.9百万円/101回	2.6百万円/288回	2.9百万円/404件	-	
平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	1.1	1.1	消費生活センターへの説明、地域における人材の育成等を行うため、各地に訪問するための職員旅費等を増額。				
	職員旅費	5.9	9.2					
	庁費	1.3	1.5					
	委員等旅費	0.3	0.3					
計	8.6	12.1						

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	「消費者基本計画」(平成22年3月策定)において、消費者支援連絡会は今後5年間に講ずべき具体的施策として措置されており、また、「青少年が安全に安心してインターネットを利用できるようにするための施策に関する基本的な計画(第2次)(平成24年7月6日)」において、官民連携して青少年・教職員・保護者等に対するインターネットの適切な利用に関する啓発講座を実施することとされているため、事業の目的は国民や社会のニーズを反映している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	「消費者基本計画」(平成22年3月策定)において、消費者支援連絡会は今後5年間に講ずべき具体的施策として措置されており、また、「青少年が安全に安心してインターネットを利用できるようにするための施策に関する基本的な計画(第2次)(平成24年7月6日)」において、官民連携して青少年・教職員・保護者等に対するインターネットの適切な利用に関する啓発講座を実施することとされているため、地方自治体、民間等にのみ委ねることができない事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	「消費者基本計画」(平成22年3月策定)において、消費者支援連絡会は今後5年間に講ずべき具体的施策として措置されており、また、「青少年が安全に安心してインターネットを利用できるようにするための施策に関する基本的な計画(第2次)(平成24年7月6日)」において、官民連携して青少年・教職員・保護者等に対するインターネットの適切な利用に関する啓発講座を実施することとされているため、優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	各取組における会議の開催については、可能な限り総合通信局内の会議室において開催する等、経費の効率的な支出に努めている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	各取組における会議の開催については、可能な限り総合通信局内の会議室において開催する等、経費の効率的な支出に努めている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか	○	各取組における会議の開催については、可能な限り総合通信局内の会議室において開催する等、経費の効率的な支出に努めている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	各取組における会議の開催、啓発講座の実施について、運動して行うなど、効果的な実施に努めている。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果		・電気通信消費者支援連絡会は利用者利益の向上を目的として開催しており、消費生活センター等の参加者からも高い評価をいただき、継続的な開催を望む声が多いことから、消費生活センター及び事業者のニーズを踏まえ、平成27年度以降も継続して開催する。 ・青少年のインターネットリテラシー向上のために関係者間との連携体制を構築し、積極的な普及啓発活動を行う中、e-ネットキャラバン活動については、申し込み件数が増加しており、世間のニーズは高まっており、今後も、継続的な取組を実施する。
	改善の方向性		・会議の実施に当たっては、できるだけ合同庁舎を利用したり、e-ネットキャラバンのための出張の際に、消費者支援関連の会議等を同日に行うなど、今後も、経費の効率的な執行を行う。 ・今後も、啓発講座等の申込件数増加が見込まれる中、効率的な執行を行う。

外部有識者の所見

- ・アウトカムにある「e—ネットキャラバン」の活動の概要が解るように示す必要がある。
- ・アウトプットがe—ネットキャラバンの講座開催数だけとなっていることと、アウトカムとを併せ読むと、本事業の中核はeネットキャラバンの実施に尽きるようだが、事業概要に記述された広範囲な目標とどう整合するのか、わかりにくい。

行政事業レビュー推進チームの所見

事業内容の
一部改善の

更なる経費の効率化を図り、適正な予算執行に努めること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

執行等改善

所見を踏まえ、会場費等の経費の効率的な執行を行う等、更なる経費の効率化を実施。

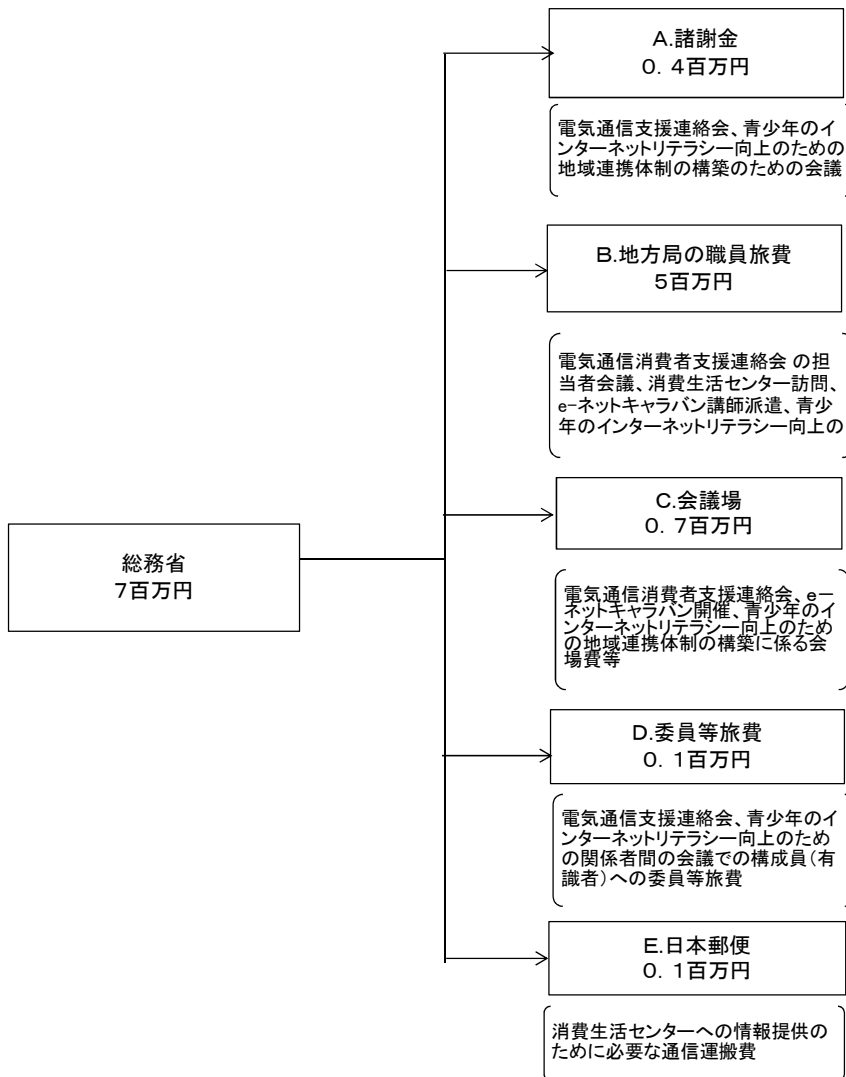
備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	0169	平成23年度	0168	平成24年度	0168	
平成25年度	0115	平成26年度	0114			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

B.					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
職員旅費	・電気通信消費者支援連絡会の担当者会議、消費生活センター訪問、e-ネットキャラバン講師派遣、青少年のインターネットリテラシー向上のための地域連携体制の構築に係る訪問等旅費	5			
計		5	計		0

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A. 諸謝金

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	有識者A	電気通信消費者支援連絡会、青少年のインターネットリテラシー向上のための関係者間の会議等への出席	0	—	—
2	有識者B	電気通信消費者支援連絡会、青少年のインターネットリテラシー向上のための関係者間の会議等への出席	0	—	—
3	有識者C	電気通信消費者支援連絡会、青少年のインターネットリテラシー向上のための関係者間の会議等への出席	0	—	—
4	有識者D	電気通信消費者支援連絡会、青少年のインターネットリテラシー向上のための関係者間の会議等への出席	0	—	—
5	有識者E	電気通信消費者支援連絡会、青少年のインターネットリテラシー向上のための関係者間の会議等への出席	0	—	—
6	有識者F	電気通信消費者支援連絡会、青少年のインターネットリテラシー向上のための関係者間の会議等への出席	0	—	—
7	有識者G	電気通信消費者支援連絡会、青少年のインターネットリテラシー向上のための関係者間の会議等への出席	0	—	—
8	有識者H	電気通信消費者支援連絡会、青少年のインターネットリテラシー向上のための関係者間の会議等への出席	0	—	—
9	有識者I	電気通信消費者支援連絡会、青少年のインターネットリテラシー向上のための関係者間の会議等への出席	0	—	—
10	有識者J	電気通信消費者支援連絡会、青少年のインターネットリテラシー向上のための関係者間の会議等への出席	0	—	—

B. 地方局の職員旅費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	電気通信消費者支援連絡会の担当者会議、消費生活センター訪問、e-ネットキャラバン講師派遣、青少年のインターネットリテラシー向上のための地域連携体制の構築に係る訪問等旅費	0.4	—	—
2	個人B	電気通信消費者支援連絡会の担当者会議、消費生活センター訪問、e-ネットキャラバン講師派遣、青少年のインターネットリテラシー向上のための地域連携体制の構築に係る訪問等旅費	0.4	—	—
3	個人C	電気通信消費者支援連絡会の担当者会議、消費生活センター訪問、e-ネットキャラバン講師派遣、青少年のインターネットリテラシー向上のための地域連携体制の構築に係る訪問等旅費	0.4	—	—
4	個人D	電気通信消費者支援連絡会の担当者会議、消費生活センター訪問、e-ネットキャラバン講師派遣、青少年のインターネットリテラシー向上のための地域連携体制の構築に係る訪問等旅費	0.3	—	—
5	個人E	電気通信消費者支援連絡会の担当者会議、消費生活センター訪問、e-ネットキャラバン講師派遣、青少年のインターネットリテラシー向上のための地域連携体制の構築に係る訪問等旅費	0.2	—	—
6	個人F	電気通信消費者支援連絡会の担当者会議、消費生活センター訪問、e-ネットキャラバン講師派遣、青少年のインターネットリテラシー向上のための地域連携体制の構築に係る訪問等旅費	0.2	—	—
7	個人G	電気通信消費者支援連絡会の担当者会議、消費生活センター訪問、e-ネットキャラバン講師派遣、青少年のインターネットリテラシー向上のための地域連携体制の構築に係る訪問等旅費	0.2	—	—
8	個人H	電気通信消費者支援連絡会の担当者会議、消費生活センター訪問、e-ネットキャラバン講師派遣、青少年のインターネットリテラシー向上のための地域連携体制の構築に係る訪問等旅費	0.2	—	—
9	個人I	電気通信消費者支援連絡会の担当者会議、消費生活センター訪問、e-ネットキャラバン講師派遣、青少年のインターネットリテラシー向上のための地域連携体制の構築に係る訪問等旅費	0.2	—	—
10	個人J	電気通信消費者支援連絡会の担当者会議、消費生活センター訪問、e-ネットキャラバン講師派遣、青少年のインターネットリテラシー向上のための地域連携体制の構築に係る訪問等旅費	0.2	—	—

C.会議場

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	KKRホテル広島	電気通信消費者支援連絡会、e-ネットキャラバン開催、青少年のインターネットリテラシー向上のための地域連携体制の構築に係る会場費等	0.1	—	—
2	警察共済組合沖縄県支部	電気通信消費者支援連絡会、e-ネットキャラバン開催、青少年のインターネットリテラシー向上のための地域連携体制の構築に係る会場費等	0.1	—	—
3	ホテルサンルート松山	電気通信消費者支援連絡会、e-ネットキャラバン開催、青少年のインターネットリテラシー向上のための地域連携体制の構築に係る会場費等	0.1	—	—
4	大洋工芸 仙台営業所	電気通信消費者支援連絡会、e-ネットキャラバン開催、青少年のインターネットリテラシー向上のための地域連携体制の構築に係る会場費等	0.1	—	—
5	奈良県王寺町地域交流センター	電気通信消費者支援連絡会、e-ネットキャラバン開催、青少年のインターネットリテラシー向上のための地域連携体制の構築に係る会場費等	0.1	—	—
6	高知県市町村職員共済組合	電気通信消費者支援連絡会、e-ネットキャラバン開催、青少年のインターネットリテラシー向上のための地域連携体制の構築に係る会場費等	0	—	—
7	アイラック愛知	電気通信消費者支援連絡会、e-ネットキャラバン開催、青少年のインターネットリテラシー向上のための地域連携体制の構築に係る会場費等	0	—	—
8	ITビジネスプラザ武蔵	電気通信消費者支援連絡会、e-ネットキャラバン開催、青少年のインターネットリテラシー向上のための地域連携体制の構築に係る会場費等	0	—	—
9	JA長野県ビル	電気通信消費者支援連絡会、e-ネットキャラバン開催、青少年のインターネットリテラシー向上のための地域連携体制の構築に係る会場費等	0	—	—
10	とくぎんトモニプラザ	電気通信消費者支援連絡会、e-ネットキャラバン開催、青少年のインターネットリテラシー向上のための地域連携体制の構築に係る会場費等	0	—	—

D.委員等旅費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	委員A	電気通信消費者支援連絡会、青少年のインターネットリテラシー向上のための関係者間の会議等への出席	0	—	—
2	委員B	電気通信消費者支援連絡会、青少年のインターネットリテラシー向上のための関係者間の会議等への出席	0	—	—
3	委員C	電気通信消費者支援連絡会、青少年のインターネットリテラシー向上のための関係者間の会議等への出席	0	—	—
4	委員D	電気通信消費者支援連絡会、青少年のインターネットリテラシー向上のための関係者間の会議等への出席	0	—	—
5	委員E	電気通信消費者支援連絡会、青少年のインターネットリテラシー向上のための関係者間の会議等への出席	0	—	—
6	委員F	電気通信消費者支援連絡会、青少年のインターネットリテラシー向上のための関係者間の会議等への出席	0	—	—

E.日本郵便

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本郵便株式会社	消費生活センターへの情報提供等	0.1	—	—
支出先上位10社リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載			<input type="checkbox"/> チェック		